

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新千葉校		
○保護者評価実施期間	2025 年 11 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2025 年 11 月 1 日 ～ 2025 年 12 月 20 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026 年 1 月 10 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	適切な支援の提供 (こどもの特性の理解と専門性のある支援)	実施した支援とその結果について、職員間で情報共有を徹底している。	引き続き、職員間の情報共有の時間を確保していく。 専門的支援実施指導員を配置し、より専門性の高い支援が提供できるよう体制を整える。
2	保護者への説明等 (保護者との共通理解)	実施した支援とお子さんの様子を、保護者の方に丁寧に報告している。また、ご家庭や園での様子について、近況報告をしていただく時間を設けている。	支援の様子を保護者の方に見てもらい、ご家庭でもできる支援方法について助言ができるようになるとうい。
3	満足度 (こどもが楽しみに通所している)	お子さんがやりたいことを最大限に尊重し、一緒に楽しめる支援になるよう工夫している。	お子さんの興味関心に寄り添いながら、挑戦する課題も用意し、達成感も味わえる支援を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境・体制整備 (スペースの確保・バリアフリー化等)	・ 同時間に放課後等デイサービスの利用者がいた場合、十分活動スペースを確保できないことがある。 ・ パーテーションや学習机、大きなホワイトボードなど、安全性に配慮が必要な設備がある。	・ 児童発達支援の利用時間を調整し、スペースを確保する ・ 小集団活動を取り入れ、パーテーションや学習机等を別のスペースに移動させるなどして、案全に活動できるよう配慮する。
2	適切な支援の提供 (地域での他のこどもと活動する機会の提供)	個別療育という特性上、保護者から特にご要望をいただく機会がない。	個別で丁寧に支援することを継続しながら、少しずつ同年代の他児との関わりの機会について案内していく。
3	非常時等の対応 (避難訓練実施の情報開示)	避難訓練は毎月実施しているが、全ての保護者に伝わるような発信はできていない。	避難訓練の実施報告をSNSやHPを通して発信し、安心して利用していただけるよう努める

公表日

2026年2月15日

事業所名

こどもサポート教室「きらり」新千葉校

利用児童数

6

回収数:

6

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5	1	0	0		利用人数に余裕があるときは、パーテーションを取り除き、可能な限り活動スペースを確保するようにします。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※ 1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	1	0	0		・お子さんご自身の活動場所が分かりやすいように目印を大きく表記します。 ・視覚的な刺激を最小限にする工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	1	0	0		スペースを十分確保し、使い終わった教具を片付けることで、心地よく過ごせるよう環境を整えます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラム(※ 2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	1		HPに公表されている支援プログラムに基づいて個別支援計画を立て、支援内容に活かしていきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	6	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1		職員間で情報共有をしながら、活動プログラムを適宜見直していきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	2		ご要望があれば対応していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1	0	0		安心して利用していただけるよう、丁寧に説明するよう努めます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1	0	4		ペアレントトレーニングについては、積極的に取り入れていけるよう準備していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	0	4		ご要望があれば対応していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	1		ご相談や申入れがあった際に、迅速かつ適切に対応できる体制を整えていきます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	1		事業所の直近の情報が確認できるよう、HPやSNSを積極的に活用していきます。自己評価の結果は適切に公表します。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	1		引き続き個人情報の取扱いに留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	0	0	2		利用者様が参加できるような訓練を計画していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		

従業者向け

児童発達支援評価表

○ 本評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所に従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・粗大運動等を行うに当たっては、もう少し広くスペースを確保できるとよい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・机の角やホワイトボードの脚など、配慮しなくてはならない箇所は職員間で周知しているが、環境的には十分とは言えない。 ・活動ブースには不要なものを置かないようにしている。 ・パーテーションの対策が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・安全確保できる場所がない状況。 ・個室についても時間や利用者数等によって確実ではない。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・全員がその都度、情報共有を行っている。 ・情報共有は行えているが、全員が十分参画できているとは言えない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・出来る限り保護者の意向を聞きながら全員で業務改善につなげることが出来ている。 ・事業者評価表に基づいて改善を図っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業者評価表に基づいて改善を図っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在は実施できていない。 ・行政の指導や事業者評価表に基づいた改善は行っているが、第三者評価の導入が今後の課題。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員の人手不足により、外部研修への参加が難しい状況がある。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・支援で使用する道具は、職員が手作りするなど工夫して提供している。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別支援を基本としているが、行事などを通じて集団活動の機会も設けるようにしている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・担当者会議は基本的には事業所内の職員間で行っている。必要と判断したお子さんについては、事業所間連携会議を開催している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・地域の関係機関との連携はできていない。まずは連携できる機関を把握し、関係作りから行いたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保育園、幼稚園、こども園との情報共有については、課題と感じている。行政主催の交流会でできたつながりを、支援に活かしていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学時の情報共有について、どのような共有がなされているか不明な点がある。保護者からの依頼に基づき、都度対応している状況。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・児童発達センターとの連携は図っているが、助言等を受けるまで関わりを持っていない。

	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・通所しているこどもが通っている、地域の保育園のイベントに協力したことはあるが、こども同士の交流はない（利用者からの希望なし）。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・就労移行相談の機会を設けているが児発に向けたものは計画できていない。 ・ペアレントトレーニングの開催を計画してる。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・毎回の支援後のフィードバックの時間内に、最近のお子さんの様子を聞いている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・保護者同士の交流の場については、ご要望があればつくっていききたい（現状要望なし）。 ・利用者保護者様向けの活動は行われていない。保護者会として輪を広げる活動のほか、普段どのような支援を受けているか体験してもらう機会などあってもいいのではないか。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・事業所のイベントに地域の住民を招待することはしていない。地域に開かれた事業所として今後検討していきたい。 ・現在、行えていない。利用者の通っている保育園や地域等と連携し、開かれた事業運営を考えていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	・机上の訓練で終わってしまっていることが多い。 ・子どもも参加できる訓練を企画できるとよい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・基本的に食べ物を提供していないため、特に医師の指示書に基づいた対応は行う機会はない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・自分の言葉遣いや態度が「不適切なケア」に当たらないか、事業所内研修等で常にセルフチェックできるような工夫を行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		